

2012年1月 話題広告賞

平成二十四年年頭

太く束ねて

未曾有の大自然の暴虐に
踏みじられた日本国土の無残
膨大な瓦礫の山と深い悲しみ、
危惧はそのままに 年が明けた。

今なお苦しみもがく人たちは立ちつくし
目に見えない不吉な異物質に戦き
山や村 町や海辺の家を失って
帰りたくても帰れない人たちが
一緒に暮らせない家族たちがいる、
とにかく 国は錯った判断と過信の償いを
次世代に押しつけてはならない。

同じ時代を生きている者として
再生へ 復興へとつき進む人たちに、
日本じゅうの思いやりを太く束ねて
勇気づけてあげたい。



束ね斗

この造形は、江戸時代から明治ごろの田舎で使われた自在鉤の紐を上げ下げするための横木とよぶ道具で、柳材のこの艶は、何代かにわたり主婦の手で毎日拭きぬかれた束に生まれたもの。型斗のめでたきを愛する日本人の美感覚と、丹精こめて磨きあげたこれは、民衆が生みだした世界に誇るべき美である。(栗葉子)

創業百十九年

栗葉子

竹風堂

長野県上野井郡小市町973
026-742-7076
http://chikudo.com

2012年1月3日付 15段

株式会社 竹風堂 [広告会社 ながのアド・ビューロ/制作 竹風堂企画室]